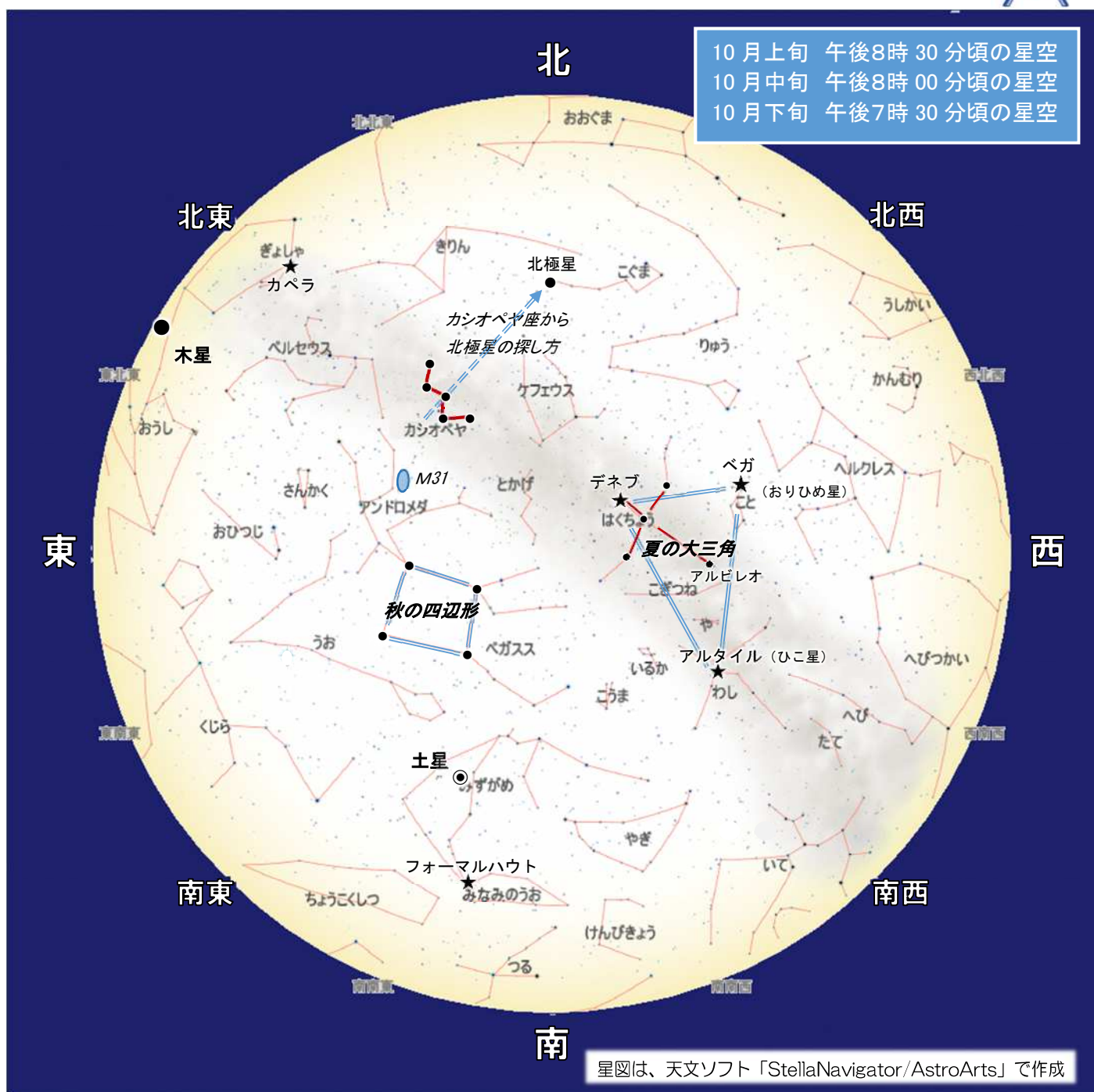


2024年 10月の星空案内



【10月の星空】

よいの空高くには、まだ『夏の大三角』の3つの1等星（ベガ・アルタイル・デネブ）が目立っています。これを追って東から昇ってくるのが秋の星座たちです。ペガス座を中心とした『秋の四辺形』は全て2等星ですが、周囲に明るい星が少ないのでよく目立ちます。南の空には、秋の星座で唯一の1等星「フォーマルハウト」が、土星の南、低い空に輝いています。先月17日の「十五夜」に続いて、今月15日(火)は「十三夜」のお月見の日。『栗名月』や『後の月』とも呼ばれます。少し欠けた月を愛でる風情を、ぜひお楽しみください。

【紫金山・アトラス彗星が見ごろ】

9月下旬に太陽にもっとも近づいた紫金山・アトラス彗星（C/2023A3）が、10月13日地球に最接近します。10月中旬ごろには、夕方の西の空で長い尾を引く肉眼彗星になるかもしれません。彗星の尾は、非常に淡いので、天の川の見えるような暗く、西の空の開けた場所に行ってみるとよいでしょう。